



出土木製農耕具



くり抜き井戸杵と朝鮮系無文土器



線刻板出土状況



土製犬・土製馬

豊穰への祈り

小城に住んでいた人々が豊穰を願い、収穫に感謝して執り行ったマツリに関連する遺物や農耕に使用された遺物を紹介します。あわせて丁永遺跡出土「丁亥年銘刻書紡錘車」が佐賀県重要文化財に指定されたことを記念して展示を行います。

会期 令和7年9月6日(土)～10月19日(日)

[休館日：毎週月曜日、9月16日(火)、
9月23日(火・祝)、10月14日(火)]

開館時間 午前9時～午後5時 入場料 無料

会場 小城市立歴史資料館 企画展示室
佐賀県小城市小城町158-4(桜城館2階)

主催 小城市教育委員会文化課

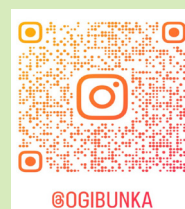
問い合わせ先

小城市教育委員会文化課 文化財保護係

TEL：0952-73-8809 e-mail：bunka@city.ogi.lg.jp



小城市立歴史資料館へのアクセス



文化課Instagram

■展示概要

小城市の中で祈りが初めて出土遺物として確認できるのは弥生時代です。

弥生時代早期の石木中高遺跡では、市内の中で最も早い時期に稲作が行われた事を示す農耕具とともに祭祀に関連する遺物が出土しています。

弥生時代中期の土生遺跡では、集落内で利用しなくなった井戸から完全な形の土器が出土していることから水や水脈に対して畏敬の念を抱いていたと考えられます。

古墳時代以降でも久蘇遺跡や石木遺跡で子持勾玉や土製品が出土しており、水辺での祭祀が行われていました。古代でも馬や犬を形をした土製品が出土しており、水にかかわる祭祀で使用された祭具として考えられます。

今回の展示会では、稲作に密接に関連する水に対して行われたマツリをはじめ生活の中で行われたマツリについて出土遺物を中心にをご紹介します。



佐賀平野からみた天山

■記念展示

「丁永遺跡出土丁亥年銘刻書紡錘車」

令和7年5月2日に佐賀県重要文化財に指定されたことを記念して展示を行います。



■小城の歴史講座

「小城土生遺跡発見の力士土偶」

小城市内で発見された土偶について新説を発表していただきます。

日時：令和7年9月6日（土）14：00～15：30

場所：歴史資料館 2階研修室

講師：高島忠平氏（佐賀女子短期大学名誉教授）

参加費：無料

定員：50名（要申込み）

TEL：0952-73-8809（小城市文化課）

相撲の発祥は
小城 だった！？



小城市出土の土偶

講師プロフィール

福岡県飯塚市出身。熊本大学法文学部文科東洋史専攻を卒業。

奈良国立文化財研究所を経て、1974年より佐賀県教育委員会勤務。

1989年より行われた吉野ヶ里遺跡の発掘調査に際し、保存設備の計画・指揮をとる吉野ヶ里遺跡保存対策室長に就任。

その後、佐賀県教育委員会副教育長、兼県立名護屋城博物館館長などを務めた。

1999年より佐賀女子短期大学教授に就任し、2002年から2010年3月までは同短大学長を、退任後は同短大を運営する学校法人旭学園の理事長を務める。

